

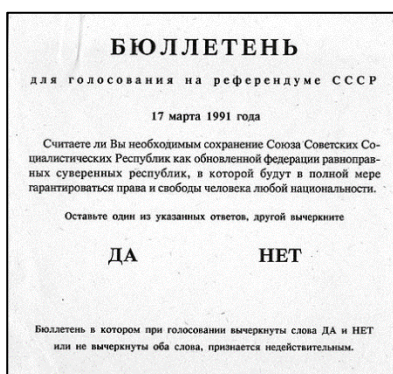
ソ連崩壊から 30 年 ②

調査レポート

2021 年 12 月 27 日
国際部 シニアアナリスト
ゴロニコフ アントンソ連への郷愁（ノスタルジー）

全ロシア世論調査センター（VTsIOM）は 2021 年 3 月、ソ連崩壊についてロシア国内で実施した最新の世論調査の結果を発表した¹。「ソ連が崩壊したことについて、残念に思いますか」という質問に対し、回答者の 67%が「残念に思う」と答えた。2005 年以降、同調査で同じ質問を何回聞いても、必ず 6 割以上の方が「残念だ」と答えている。2016～17 年にはロシアだけでなく、旧ソ連諸国であったアルメニア、グルジア（現ジョージア）、カザフスタン、モルドバ、ウクライナでも同調査を実施した。アルメニアやモルドバは 5 割、カザフスタンは 4 割、ウクライナとグルジアは 3 割の人が「残念だ」と答えた。旧ソ連地域では今でもソ連を恋しく思っている人がいることがわかる。年齢別でみると、ロシアの場合、特にソ連時代の経験がない 18～24 歳の若者層の約 5 割が「残念ではない」と答えているが、ソ連時代に生まれ、ソ連の記憶がある 45 歳以上のロシア人の 8 割が「ソ連崩壊は残念だ」と答えている。さらに、「もし今日、ソ連の維持を問う国民投票が行われたら」という質問には 73%のロシア人が「ソ連を維持するべきだ」と答えた。これは 1991 年 3 月、実際に、ソ連の維持を問うた全ソ国民投票とほぼ同じような結果になっている²。このように、現在も多くのロシア国民がソ連に対してノスタルジーを抱いている。なぜか。その理由は、国の過去の負の歴史も認識しつつ、もう戻れない当時に懐かしく美化する郷愁と、ソ連時代にあった社会保証システムによって当時は年金で生活できたという思いである。教育や医療は無料、表向きは身分の差がなく、所得の格差もない、今よりも平等な社会だったといった理由が挙げられる。プーチン大統領自身も 2021 年 10 月にロシア国内で行われた国内外の有識者を集めた「バルダイ会議」において、「労働者の家族出身である私でも国内の一流大学（現在のサンクトペテルブルク大学。当時はレニングラード大学と呼ばれていた。ちなみに筆者の出身校でもある）で優良な教育を受けることができた。ソ連にはソーシャル・モビリティ（社会的流動性）ができていた」と話している³。専門学校や大学などを卒業して、就職先も保証され、激しい市場競争がなく、明確な生活のガイドラインと将来への確信と希望があったと思われる。「ソ連崩壊は残念だ」と考える人々には、現在のようなロシア社会を悩ませる汚職問題もなく、ノーメンクラトゥーラ（特権階級）という政治的エリートは存在していたが、一般国民はそれとは関係なく、より公平な社会であったという思いを抱いている人が多い。

しかし、逆戻りできないことは分かっており、今回の調査で回答者の 70%以上が「現在ではソ連の復活は不可能だ」と答えている。そして、「ソ連の良かったところを今日まで残してくれた政治家は誰だと思いますか」との質問については、約 40%の人が「プーチン大統領だ」と答えている。



1991 年 3 月、ソ連の国民投票用紙

質問：ソ連の維持に賛成ですか、反対ですか。（出所: Wikipedia Commons）

少しだけ筆者自身のソ連への思いを書くと、ソ連崩壊の 1991 年当時は高校生で、バスケットボールに夢中だった。レニングラード市の青少年選抜チームに所属し、ときにはバルト三国まで遠征したこともあった。ソ連時代と楽しかった子供時代が重なるため、1986 年にゴルバチョフ書記長が就任してからソ連崩壊までの間、正直、何が起きているのか関心もなかったし、よくわからなかった。軍人の父と中学校教師の母のもとで、青春を謳歌したソ連国民の一人だったのである。唯一惜しむらくは、中学校時代、学校にあったレーンのレリーフ・パネルにいたずらをしたために、ピオネール（ソ連共産党の少年団）から除名されてしまったことである。つまり、共産黨員となり政治エリートになる道は、その時点でなくなったのだ。 以上

¹ 電話調査、3,200 人が対象者、18 才以上。 [Референдум марта 1991 года – Августовский путч – Беловежские соглашения: как работают механизмы исторического мифотворчества в политической повестке | Международный мультимедийный пресс-центр МИА «Россия сегодня» \(pressmia.ru\)](#)

² 1991 年 3 月 17 日、ソ連の維持を問う全ソ国民投票が行なわれ、投票者の 76%がソ連の連邦制に賛成した。だが、バルト 3 国、モルドバ、グルジア、アルメニアの 6 国が投票をボイコットしたため、国民投票の結果は事実上、無効となった。

³ [Путин об СССР: я закончил университет, будучи из семьи рабочих \(vesti.ru\)](#)

本資料は、信頼できると思われる情報ソースから入手した情報・データに基づき作成していますが、当社はその正確性、完全性、信頼性等を保証するものではありません。本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社及び住友商事グループの統一的な見解を示すものではありません。本資料のご利用により、直接的あるいは間接的な不利益・損害が発生したとしても、当社及び住友商事グループは一切責任を負いません。本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。